

ふれあいぽけっと

今月の題字
牟礼西小学校 一年

こいざやしふみあきさん

【発行】 ふれあいぽけっと編集委員会(事務局:社会福祉法人 飯綱町社会福祉協議会) / 〒389-1201 長野県上水内郡飯綱町大字芋川 181
TEL 026-253-8456 / FAX 026-253-2907 / Eメール: iizuna-shakyo@bh.wakwak.com笑顔があふれる
わらび会

☆主な記事☆

- ◆わらび会
- ◆新旧会長あいさつ
- ◆飯綱町社協施設あんないその②
- ◆ボランティアコーナー
- ◆いづな町で暮らす
- ◆安心暮らしのワンポイント
- ◆いづなの事業所紹介
- ◆まちがいきがしクイズ
- ◆新ささらばさら(4コママンガ)
- ◆りんごのつばやき

6月22日に町民会館教養娯楽室を会場に高齢者の昼食会であるわらび会が開催され、52名の方が参加しました。

今回は、鳥居川消防署消防係の方を講師に迎え、「いざという時の対応や火災報知機について」のお話を聴きました。昼食はボランティアグループのわらび会の皆さんが作った、わらび尽くしの料理に舌鼓を打ちました。

その後は、夏川区の大正琴のグループのハマナス会が演奏する大正琴を聴きました。演奏もさることながら曲の間のお話も面白く、参加された皆さんは、ハマナス会の話術と大正琴の演奏に聴きほれていました。また、最後には、アンコールも飛び出し、とても楽しいひと時となりました。

次回は、8月23日に開催を予定しています。

※この広報紙は、社協の事業内容と飯綱町の地域福祉に関する新鮮な情報をお届けするため、住民と飯綱町社会福祉協議会、町内の福祉を目的とする団体によって発行されています。

飯綱町社会福祉協議会

新会長就任あいさつ

井澤 一夫

この七月から飯綱町社会福祉協議会の会長を務めることになりました井澤一夫です。どうぞよろしくお願いします。

飯綱町の高齢化率が三十パーセントを超え、さらに年々高齢者の増加が予想される中で、社協を取り巻く環境は大きく変化してきています。

介護保険制度の施行により、施設福祉から在宅福祉へと大きく舵が取られ、そして現在、時代は地域一体の包括的な福祉サービスの充実を求めています。

この変化に対応して、地域の皆様のご期待に応え信頼される社協となるには、社協が努力することはもちろんですが、他の事業者、ボランティア、NPO法人等福祉事業に関わる全ての人々と協働し、さらに地域の皆様の協力と参加を得ながら福祉事業や福祉活動を推進することが重要と考えています。

行政との協力・連携を図りながら、「住んでよかった」、「住みたい」地域づくりに努力してまいりますので、皆様方のご指導とご協力をお願いしまして新任のご挨拶といたします。



飯綱町社会福祉協議会

会長退任あいさつ

渋沢 清

更に福祉の郷いづなに！

今年春の災害ボランティア立上げ訓練での参加者の皆さんは真剣でありました。

昨年三月の東日本大震災、長野県北部地震と相継いで、想像を絶する災害に見舞われ、私達は、大きな不安と動揺を感じました。

幸い町内には、大きな被害はありませんでしたが、親せきや知人、友人等が震災に遭い、辛い思いや悲しい思いが・・・。

被災者や被災地に対する思いや、「もし私達の町が被災したらどうしよう。」「私達のできることは、私達でやろう！」「そんな強い思いがあらわれた訓練でありました。

大震災当時は、義援金の募金活動、炊き出しや瓦礫片付け等の復興支援、サロン開催による支えあい支援にと多くの町民の参加による心強い活動がありました。本当に感謝であります。今回の大震災で私達は、貴重な経験をし、学びました。このことを住みよい町づくりに生かしましょう。多くの人と出会えたこと、そして温かく支えていただいたことに心から感謝申し上げます。



飯綱町社協 施設あんない その② “さみずの郷”



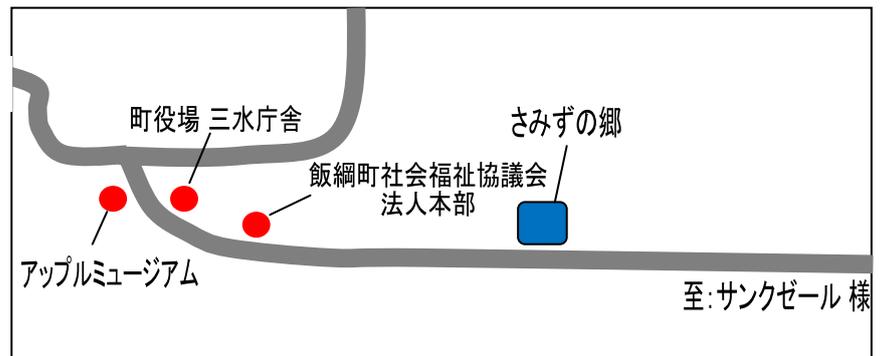
毎日、歌や笑い声が聞こえてくる。そんなあったかさのあるデイサービス。それが“さみずの郷”です。職員は、いつも明るく元気なあいさつを心がけ、ご利用者様に安心して過ごしていただけるよう努めています。

今回は、そんな“さみずの郷”のサービスを紹介します。

所在地と外観



▲平成17年にできた施設は、まだ新しく、新築の雰囲気があります。



▲場所は、役場三水庁舎からサンクゼールに向かう道の途中にあります。まるで高原の別荘地のような、小高く、木々に囲まれた立地が自慢です。

行 事



▲小学生と七夕飾り



▲畑作業を楽しむ方も

恵まれた自然環境を生かした季節の行事、地域の方との交流などご利用者様の希望に沿ったイベントの計画をしています。

サ ー ビ ス



▲大窓で開放感ある浴室



▲食事は旬の素材をふんだんに

さみずの郷を利用していただいた1日が充実したものとなるよう介護サービスはもちろんのこと食事や入浴などにも気を配っています。

さみずの郷の特色

●畳のダイルーム(居間)

さみずの郷は、自宅にいるような落ち着いた雰囲気でも過ごしていただくためダイルームとしては珍しい畳張りです。「昔ながらの和の雰囲気が良い」と好評です。

一方でダイルームにはソファがありますので、「座るのは難しいな……。」という方も安心。畳にソファのミスマッチも味なものですよ。

体験利用も受け付けています！御相談ください！

さみずの郷 253-8882

ボランティア・市民活動コーナー

デイサービスボランティア養成講座を開催

…元気の館で傾聴や車椅子、ドライバーの使い方を学ぶ…

飯綱町ボランティアセンター（町社会福祉協議会）は、6月28日に元気の館でデイサービスボランティア養成講座を開催しました。今回のボランティア養成講座は多くのボランティアの方々から開催要望があったことや、町内の福祉施設から“外出時の介助ボランティア”の依頼が増加していることによるものです。

講座には、既にボランティア活動をしている方と及びこれからボランティアを始めようとする方、約15名が参加されました。講座では、①傾聴ボランティアの心得②ドライバーの使用③車椅子の操作方法について、それぞれの専門分野の方を講師に迎えコツを伝授していただきました。

受講者の皆さんは「車椅子に初めて乗ってみて、乗る人の気持ちがわかり参考になりました。」「美容師さんからお聞きしてドライバーと手の使い方の“コツ”を教えていただき大変参考になりました。」講座は今後も時々開催してほしい。一人でも多くの人に参加してほしい。」などの感想を話されました。

なお、町ボランティアセンターでは、現在、「デイサービスボランティア」の募集を行っております。申し込み及びお問い合わせは飯綱町ボランティアセンター(TEL 253-1001)までお願いします。



ドライバーかけの講習

「老人クラブ連合会北信ブロック研修会」が開催

～6月27日(水) 長野市で開催、飯綱町老連が活動事例を発表～

6月27日に長野市ふれあい福祉センターで平成24年度・老人クラブ北信ブロック研修会が開催され、約200名が参加しました。そのうち、飯綱町老人クラブ連合会からは役員ら8名が参加しました。午前は司法書士による「暮らしと法律」の講演が行われ、午後は4地区の代表による事例発表を行いました。事例発表では、町老人クラブ連合会前会長の寺島利三さんが発表者として参加し、昨年町内の2支部が新規会員を増やすため、10数名の新会員を増やした取組み、小学校、保育園との交流会等の内容について説明しました。

事務局は町ボランティアセンター内に置いています。加盟等に関するお問い合わせは、飯綱町ボランティアセンター（TEL 253-1001）までお願いします。



研修会の様子

お知らせ・募集！

このコーナーの内容についての問い合わせ・申し込みについては、飯綱町ボランティアセンター
(TEL 253-1001・FAX 253-1002)【担当：吉田】までお願いします

むれデイサービスボランティア ～ボランティア募集中～

内容—ご利用者との話し相手、お茶出し、入浴後のドライバー掛け、レクリエーションの補助、昼食用の布団敷き等

時間—午前9時半頃～午後3時頃までの間で、希望する曜日や時間帯。

※半日でも、冬期間のみでも結構です。

(※土・日曜日の可能な方大歓迎)

条件—どなたでも結構です。お友達同士大歓迎!

場所—むれデイサービスセンター
(※ひだまり園内)



ケアプラザ・みつえ ボランティア募集

ケアプラザ・みつえ(高齢者、認知症の介護施設)では、デイサービス利用者さんの話し相手、お茶出し、お昼寝の準備、食器洗い等のお手伝いをいただけるボランティアを募集しています。

活動日—第2木曜日を除く毎木曜日

時間—午前9時半～午後3時

※半日でも可

場所—ケアプラザ・みつえ

※旧牟礼中央保育園南側

その他—昼食あり、持ち物は不要

デイサービスセンターふれあいの園 ～ボランティア募集中～

内容—ご利用者との話し相手、ドライバー掛け、お茶出し、昼食配膳、レクリエーションの補助等

時間—午前9時半～午後3時半頃までの間で、希望する曜日や時間帯。

※半日でも冬期間のみでも結構です。ご希望を優先します。

条件—どなたでも結構です。

お友達同士大歓迎!

場所—デイサービスセンター
ふれあいの園



いいづな町で暮らす



第2回目は『中宿区』を紹介します。

昨年起きた東日本大震災と長野県北部地震が記憶に新しいところですが、「災害は忘れたころにやってくる」といわれていたものが昨今では「災害は忘れる前にやってくる」ともいわれています。

皆さんは「忘れる前にやってくる」災害時の備えはしていますか？自分の命、家族の命、近所の人の命を守るためにはどうすればよいのでしょうか。

『中宿区』は、“防災”に特徴のある地域で、自主防災会の取り組みを先駆けて実施してきました。

個人あるいは家族で綿密にたてた防災計画も、いざ災害という時にパニックになってしまったり、想定できない条件下での災害であれば活用することができません。

そのようなことにならないために、中宿区では支え合いの仕組みである自主防災会を組織し、地域ぐるみで災害に備えています。では、中宿区の自主防災会ではどのようなことをしているのでしょうか。

中宿区では総務班、救護班、避難誘導班、消火班、炊出し班の5つの班が存在します。今回は、その活動の一部を紹介します。

その1 地区福祉推進委員会と連携して支え合いマップを使い、災害時に心配りが必要な世帯を訪問

その2 心肺蘇生法の学習

その3 要救護者の手当方法の学習

その4 炊き出し体験

地域ぐるみ(自主防災会)で災害に備えることで、臨機応変できめ細やかな防災体制を敷くことができます。また、災害時に地域住民の命を守るだけでなく、平常時の助け合い活動にもつながります。

支えあいマップとは危険箇所や避難場所、自力での避難が難しい世帯などを地図に記し、情報を視覚化したものです。緊急時に限らず、支援を必要とする世帯を把握しやすくします。

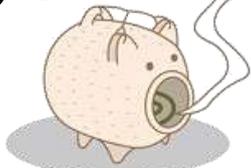
いいづな町で暮らす

今回の一言

みんなは一人のために 一人は皆のために

出典：「ダルタニャン物語」第一部『三銃士』

安心暮らしのワンポイント



テーマは「虫除け」

みなさん、今年も節電の夏となりましたがいかがお過ごしでしょうか？

今日は、私たちの夏の天敵「蚊」を追い払う『自然素材100%手作り蚊取り線香』について、お話ししたいと思います。

お子様やワンちゃんがいても大丈夫！な自然のチカラを利用した方法をご紹介します。

☆手作り蚊取り線香の原材料☆



みなさんのお庭にも咲いていませんか？花の名前を除虫菊(シロバナムシヨケギク)といいます。マーガレットによく似ていますが違うお花です。

見分け方は、花のすぐ下に葉っぱがあるマーガレットに対して、除虫菊は葉っぱが茎の下の方に集中します。

葉や茎に含まれる「ピレトリン」という殺虫成分は蚊取り線香の原料にも使用されているのです。しかも、哺乳類に害はありません。

《材料》

カラカラに干した除虫菊 20g

ハッカ油 1滴

(薬局などで売っています)

ハチミツ 小さじ1

水 小さじ2

☆手作り蚊取り線香の作り方(1個)☆

- ① 干した除虫菊をすり鉢等使い粉状にします。
- ② 全ての材料を混ぜ合わせ、粘土状にします。
- ③ ②を円すい状にして乾かすと完成！
- ④ てっぺんに火をつけると、およそ1時間の防虫効果が

手作りお線香、あなたも試してみませんか？

幼児安全法講習会開催

飯綱町救急員連絡会（日赤飯綱町奉仕団 救護班）と子育て支援センターは、六月十八日、講師に日本赤十字社長野県支部専門講師の横川孝子氏を迎え、「幼児安全法講習会」を開催しました。

幼児安全法は、少子化、核家族化が進むなか、社会の財産である「子ども」を守るために、子どもに起こりやすい事故の予防と、病气やケガの手当について、知識と技術を習得するものです。

講習会には十六名が参加し、AED（自動対外式除細動器）の操作方法や意識の有無の確認方法、誤飲した異物の吐き出させ方などを学びました。ダミー人形を使った実習では、成人とは違い成長段階にある幼児への手当ての難しさに戸惑いながらも、熱心に取り組んでいました。



▲ダミー人形を使った実習をする参加者

わたしにピッタリを探そう!!

いろいろな福祉事業所紹介

NPO法人さみずさんばだより

いよいよ熱中症の季節到来です。さんばでは、職員がいちがんとわり、利用者様を熱中症から守るための、利用者様との戦い(?)が、はじまっています。

一回戦：「ねえ、この暑いのにこんなに着てたら汗びっちょになっちゃうよ!ほら、シャツびっちょだよ!」とカーディガンと長袖を脱がせようとすると、「サブくてだめだ、震えるほどさびー!」と抵抗、(汗でシャツが濡れたせい?)カーディガンはやっとのことで脱いでもいい、背中タオルをしょってもらうって終了。引分。

二回戦：外は太陽さんがきらきら。「さあ、風が出てきたから窓全部しめるよ!」と言いながらクーラーのリモコンを隠し持ち、スイッチオン。「どっかから風がくるなあ!」と利用者様が見廻しても窓はぱっちり閉まっています。これは職員の勝ち!

三回戦：クーラーを弱くしてお昼寝時、ベッドに寝ている利用者様「寒くて、足が病めて眠れない!」と訴えます。「どうする?電気式毛布使う?」まさかね。長座布団を掛けてのお昼寝になりました。どっちの勝ち?!

昔は、(いつ頃?)クーラーも扇風機も冷蔵庫もなかったけれど、熱中症なんて言葉も出回っていませんでしたよね。とにかく皆さんに(利用者様と職員)元気にこの夏をのりきっていただかないと。

毛布、長袖、カーディガン、首巻き、脅し文句で身を守ろうとする(?)御利用者様を、クーラー、扇風機とこれまた脅し文句で熱中症から守ろうとする職員の戦いは、当分続きます。さんばは涼しいですよ!遊びに来てみて。

ジビエカレーはじめました!



ジビエ料理をご存知でしょうか?狩猟によって、食材として捕獲された野生の鳥獣を料理したもので、主にフランス料理の用語として使われています。

信濃町にある弁天食品では『オーベルジュ・エスポワール』藤木シェフ監修のもと、鹿肉を使ったジビエカレーを、レシピ通り忠実に、ていねいに、化学調味料をいっさい使わずに真空調理しています。

そんな、夏にピッタリの本格的ジビエカレーを、アップルミュージアム内 i-café (アイカフェ) のメニューに加えました。皆さん、ぜひご賞味ください!

お問い合わせ先 NPO法人SUN 電話：026-253-0133 FAX：026-253-0166

あおぞらスケッチ

社会福祉法人
林檎の里
あおぞら

あおぞらのまねやさん・・・

町内の皆様で「あおぞら」にお越しいただいたことがある方はいらっしゃるでしょうか。「あおぞら」は旧三水村芋川の若宮地区にあります。県道・長野〜荒瀬原線を信濃町方面に向かい高速道路の下をくぐる、少し手前です。いわゆる自然環境豊かでのかな地域に位置しま

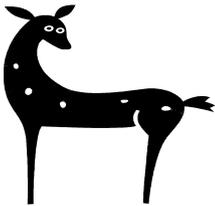


す。先月は色々な野生動物に遭遇する機会がありましたので、ここに紹介させていただきます。①「カモシカッ!」との職員の声に窓の外を見ると事務室前に大きなカモシカがおり山に駆け上がりました。②職員玄関前にヘビが登場しびっくり!それを手掴みで草むらに放る女性職員にさらにびっくり!③熊の目撃情報が相次ぎ、職員全員に確認したところ遅番帰りの職員も目撃したことが判明。こわ〜いっ



このような環境で日々暮らしておられる利用者の方も少々のことでは驚かない元気者揃いです。町内の皆様、そんなに驚かず野生動物には十分にご注意の上「あおぞら」にぜひ一度お出かけくださいませ。

このように環境で日々暮らしておられる利用者の方も少々のことでは驚かない元気者揃いです。町内の皆様、そんなに驚かず野生動物には十分にご注意の上「あおぞら」にぜひ一度お出かけくださいませ。



「ニキイケアセンターいづな」日記

昨年、7月1日飯綱町の指定管理のもと、小規模多機能型居宅介護施設としてオープンしておかげさまで一年がたちました。地域の方々、ご利用者、ご家族、介護事業所の方々、役場の方々、本当にたくさんの方々のお世話になりました。たくさんの方々との交流も出来ました。本当にありがたく、感謝でいっぱいです。スタッフ一同、感謝の心を忘れず、初心の気持ちに返って、精進してまいります。これからもよろしくお祈りします。

6/22には、牟礼西小学校の音楽会に行ってきました。子供たちの真剣な明るい歌声に感動し心温まるひと時でした。

6/29には、牟礼西小学校の4年生が訪問してくれました。全員で歌の発表のあと、手品の披露。その後は子供たちが作って持ってきてくれたぬり絵・すごろく、花札と一緒に遊びました。ご利用者のうれしそうな声!子供たちを見つめるやさしい笑顔!ホールに響く子供たちの明るい声!幸せな時間でした。



西小の子供たちの発表

本格的な“夏”が始まります。オリンピックも甲子園も始まります。真剣に何かに取り組む姿にはいつも感動します。私たちも人に感動を与えられるような真剣な心と行動を持ってプロとしての仕事をしていきたいと思っています! 緑豊かで、さわやかな風の流れる飯綱町で!

前回まちがいさがしクイズ

☆☆田かきにまつわるうんちく☆☆

田植えをした後に重要なことは水を絶やさないと・草を取ること・肥料を追加でまくことです。この中の草を取ることですが、これは雑草を取り、土に空気を入れることで発育を促します。

農薬を使わなければ美味しく、安心・安全なお米が収穫できますがなかなか大変な作業です。

とあるテレビ番組で活躍していたアイガモ隊も水田の除草をする為ですが、他にも機械を使うやり方などいろいろとあります。

第74回 まちがいさがしクイズ解答

- 答えは「田んぼの中の蛙」
「左上の山」
「馬を引いている人の杖」
「屋根のえんとつ」
「右側の人の被り物」

坂本	幸子	様
寺島	琉冬	様
松岡	千里	様
島田	とも子	様
帯刀	千代子	様

上記の皆様が当選されました

まちがいさがしクイズ

—第75回— 今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦
正解者の中から5名様には素敵な景品をプレゼント！



50 389-1201

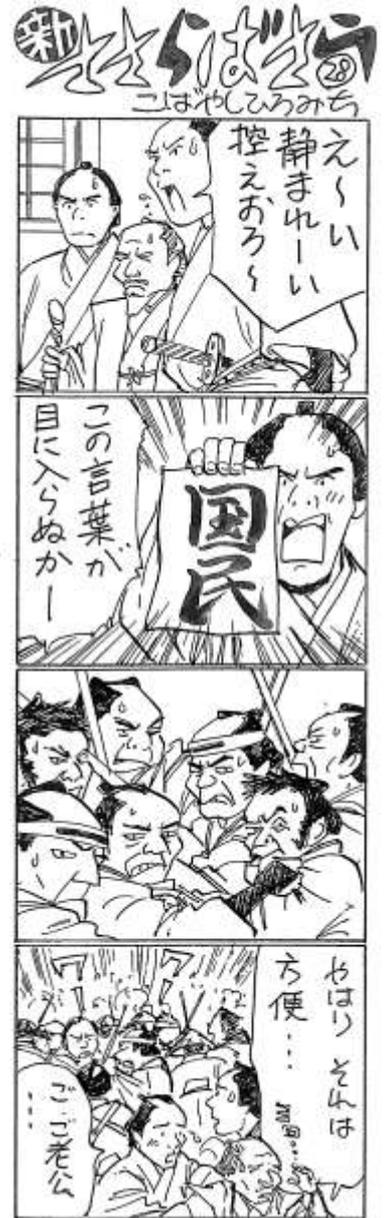
飯綱町芋川 181
飯綱町社会福祉協議会
「まちがいさがしクイズ係」

- ・こたえ
- ・じゅうしょ
- ・なまえ
- ・でんわばんごう
- ・今月号の感想など

左右の絵を見比べて5つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領でご記入の上、ご応募ください。締め切りは、8月13日です。

【消印有効】

※第74回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。



寄付

宮島 寿一様	五〇,〇〇〇円
渋谷 清様	二〇〇,〇〇〇円
匿名 様	五〇,〇〇〇円
神谷 袈裟雄様	三〇,〇〇〇円
匿名 様	一〇〇,〇〇〇円
匿名 様	展示用台・包装紙 多数

地域福祉の推進に活用させていただきます。
ありがとうございます。



いんいのつぶやき

増税が話題になる昨今、相変わらず「身を切る覚悟を示せるかどうか」で政治家の評価が決まるようですが、以前にも指摘したとおり、昨今はやる「身を切る覚悟」とは、庶民負担を増やすための手段になっている、というのが本質です。「どうせ身内に甘い政治家のことだから、身を切るなどごまかさない」と高を括っていられるうちは良いが、仮に政治家が本気で身を切り始めたら、今度は我々庶民も否応なしに身を切らねばならなくなるのは、以前指摘したとおりです。今まで政治家に散々身を切ることを求めてきた庶民が、「やっぱり自分は身を切れない」と言い訳はできないのです。でも今、身を切る余裕のある庶民はどれだけののでしょうか？ それにみんな揃ってこれ以上身を切ろうものなら、生活は苦しくなり、消費が落ち経済は低迷、肝心の税収など伸びる筈もありません。一体何のための増税なのか？と、疑問を感じます。

身を切る余裕も能力もない人がさらなる負担を求められたならば、無条件で「それは出来ない！」と突っぱねなければならぬのです。それを「隗より始めよ」の誤用そのまま、「じゃあ言い出した政治家本人からまずは身を切れ」などと条件を付けるようなことを言うから、最後は自分に火の粉が降りかかってくるのです。

もし増税に耐えられないのなら、やはり無条件に突っぱねるしかありません。「隗より始めよ」とばかりに政治家が身を切れば、我々の生活にも余裕が生まれ税金を多く納められるようになる、そんな筈はないのですから。